

試合番号 : 447	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 750		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:01	試合時間 : 02:01		
主審 : 北村 友香	副審 : 饗庭 和恵			
PFUブルーキャッツ	通算 11勝 11敗 ポイント : 33	22 第1セット 25	日立Astemoリヴァーレ	通算 11勝 14敗 ポイント : 32
監督コメント 得点シーンでの決定率の差が顕著に表れた試合だったと思う。得点能力を急に上げることは難しいので、逆に失点してはいけない場面を押さえて、明日の試合を迎えたい。本日はホームゲームということで沢山の応援をいただき、ありがとうございました。	1	28 第2セット 26	3	監督コメント 勝ち上がった今日のこの一戦を勝利することができて嬉しく思います。簡単に勝てる相手ではないので、しっかり対策を練り、コンディションを整え、勝つ準備をしてきました。強気なプレーで攻め、踏ん張り所でも我慢して、粘り強い試合をすることができました。明日も負けられない戦いが続くので、この後の時間を有効に使い、しっかり準備していきます。総戦力で2連勝できるよう一杯頑張りますので、引き続きご声援をよろしくお願いいたします。
		17 第3セット 25		
		22 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 現在7位のPFUブルーキャッツと8位の日立Astemoリヴァーレの、どちらも勝利して上位を狙いたいチーム同士の対戦。第1セット、互いに流れが行き来する展開が続く。日立Astemoは堅守からオクム大庭、長内の強打でリードする。PFUはジャン、鍋谷の強打で得点するが、最後はサーブミスで日立Astemoがセットを先取る。第2セット、序盤からリードされたPFUは、交代が入った山下、渡邊、堀口が活躍し加点。鍋谷のブロックでデュースに持ち込むと、最後は堀口が決め、このセットを奪う。第3セット、PFUは山下、渡邊、堀口をスタートから起用。日立Astemoはオクム大庭、タップ、長内の強打でリード。PFUは高相を投入するが、点差を縮めることができないまま、このセットを奪われる。第4セット、後がないPFUは高相、渡邊の強打、綿引のブロックで得点するが、追いつくことができない。最後は攻守に勝る日立Astemoがラリーを制し、勝利する。				

試合番号 : 448	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 782		
開始時間 : 15:55	終了時間 : 17:23	試合時間 : 01:28		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 佐々木 伸子			
東レアローズ	通算 17勝 5敗 ポイント : 52	25 第1セット 23	デンソーエアリービーズ	通算 14勝 10敗 ポイント : 39
監督コメント 前半はサーブミスなどもあり、なかなかリズムをつかめない場面もありましたが、中盤以降はサーブで攻めてディフェンス面でもリズムを作る事ができました。しかし、連続失点する場面などもあり課題も残りましたので、明日の試合へしっかりと修正していきたいと思っております。本日はたくさん応援をいただきありがとうございました。	3	25 第2セット 22	0	監督コメント 先日の敗戦から切り替えて臨んだ試合でしたが、非常に悔しい結果となりました。序盤はチームとして良いリズムで試合を進めることができましたが、相手のサーブに押された場面から立て直すことができませんでした。私達にとって難しい週となりますが、応援して下さる方々のためにも、明日は今日よりもエアリービーズらしい試合ができるように準備をしていきます。今日はありがとうございました。
		25 第3セット 16		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 現在2位の東レアローズと6位のデンソーエアリービーズの対戦。シーズンも終盤に差しかり勝ち星を重ねたい両チームの試合は、熾烈な点の取り合いにより幕を明けた。第1セットは序盤から中盤にかけて、両チームとも一進一退の攻防となる。終盤、東レはクラン、石川のスパイクが効果的に決まり、主導権を握る。デンソーは要所でアコスタにボールを集めるも一歩及ばず、東レがセットを先取った。第2セット、井上のスパイク、石川のサーブにより、東レが序盤から流れをつかむ。デンソーは堅実な守備を起点とした多彩な攻撃により反撃を試みるも、流れに乗った東レには及ばず、最後はクランのスパイクが突き刺さり、東レがセットを連取した。第3セット、後がないデンソーは、東谷を中心にアコスタ、兵頭らのスパイクにより得点を重ねるが、わずかなところでゲームの主導権を握ることができない。東レはセッター関が、本日好調のクランに要所でボールを集めて効果的に得点を重ね、第1、2セットの勢いそのままに、ストレートで勝利を収めた。				

試合番号 : 449	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 614		
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:17	試合時間 : 02:12		
主審 : 原 啓之	副審 : 本間 明			
ヴィクトリーナ姫路	通算 5勝 19敗 ポイント : 16	23 第1セット 25	埼玉上尾メディックス	通算 14勝 8敗 ポイント : 42
監督コメント 各セットのスタートはサーブで崩しディフェンスで粘りながらポイントを取っていったが、中盤以降、埼玉上尾の組織的なブロックとディフェンスに徐々に苦しめられていきました。サーブレシーブやブロック等、取るべきところでもう少しきちんと点を取れるようにしなければなりません。久しぶりのホームゲーム、皆様の応援がチームを大きく後押ししてくれています。本当にありがとうございます。明日は何としても勝ちます。ぜひチームへの後押しをお願いします。	1	22 第2セット 25	3	監督コメント まずは勝利することができ、嬉しく思います。今年に入って初めてのアウェイゲームでしたので、ヴィクトリーナ姫路の勢いに押されそうになりましたが、ディフェンスからの攻撃が要所で決まったのが良かった点だと思います。セットの終盤でミスが少し目立ってしまったことがあったので、明日はスタートでリードできるように取り組みます。明日も応援よろしくお願いします。
		25 第3セット 22		
		17 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート ヴィクトリーナ姫路がホームに埼玉上尾メディックスを迎えた一戦が始まった。第1セット、姫路はブラクのスパイクで流れを掴もうとするが、埼玉上尾はロレンネ、内瀬戸のスパイクで追い上げる。姫路は渡邊のスパイク、リベロの福井の好レシーブで反撃するも、埼玉上尾がセットを先取った。第2セット、一進一退の展開の中、埼玉上尾は佐藤のスパイクでじりじりと突き放す。姫路はメンバーチェンジで流れを変えようとするが、埼玉上尾は岩崎の巧みなトスワークで姫路のブロック陣に的を絞らせずセットを連取した。第3セット、姫路は佐々木、真包のスパイクで流れを引き寄せ、埼玉上尾は岩崎のブロック、青柳のスパイクで粘るも、姫路がセットを取り返した。第4セット、中盤まで両者一歩も譲らない展開の中、埼玉上尾はロレンネのサービスエース、リベロ山岸のレシーブでリードを奪う。粘る姫路は真包のスパイクで応戦するが、埼玉上尾が勝利を掴んだ。				

試合番号 : 450	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 385		
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:26	試合時間 : 01:26		
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 中口 岳			
岡山シーガルズ	通算 8勝 17敗 ポイント : 25	25 第1セット 21	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 3勝 19敗 ポイント : 7
監督コメント 先週のNEC戦から大事なところでの凡ミスが少なくなり、結束力がよみがえってきているように思う。選手たちも自分の責任、チームの約束事に各自が集中できるようになってきた。この思いを加速させ、よりシーガルズらしい粘りあるバレーを完成させていきたい。コロナ禍の中にもかかわらず、会場に足を運んでくださった皆様にも心より御礼申し上げます。また、画面越しに応援して下さった皆様にも御礼申し上げますと共に、少しでも元気や勇気をお伝えできるようこれからも頑張っていきます。	3	25 第2セット 17	0	監督コメント 4勝目を挙げるべく、モチベーションを高めて臨んだゲームでした。しかし、岡山シーガルズの粘り強いディフェンスになかなか得点ができませんでした。中盤でのサーブレシーブの乱れなど、課題も多岐にわたる悔しい敗戦となりました。今後ともご声援よろしくお願いいたします。
		25 第3セット 23		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート レギュラーラウンド終盤に向けて活路を見出すために白星を獲得したい岡山シーガルズとKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、岡山は佐藤のライトアタックとブロックで、KUROBEは打点の高いラッツのアタックと、コラムのバックアタックで一進一退の展開となる。しかし、岡山は13-13から高柳(有)と及川の活躍で5連続得点し、粘るKUROBEを突き放した。第2セットも前セット同様の展開となる。KUROBEが小西のトスフェイントや細沼、コラムの連続ブロックで得点すると、岡山も金田の活躍で13-13とする。ここから岡山は船田の好レシーブを繋いで高柳(有)が押し込むなど7連続得点すると、その勢いそのままセットを連取した。第3セット、後がないKUROBEはラッツ、中山が奮闘し必死に流れを掴もうとするが、岡山は付のセンター攻撃や金田のブロックが決まり接戦となった。終盤まで予断を許さぬ展開となったが、岡山は高柳(有)のアタックでリードを広げると、最後は食い下がるKUROBEを振り切りストレートで勝利した。				

試合番号 : 451		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 1,118	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:43		試合時間 : 01:43		主審 : 千代延 靖夫	
						副審 : 弘中 秀治	
久光スプリングス		通算	15勝	7敗	26	第1セット	24
			ポイント : 47				
監督コメント	序盤から相手のサーブで崩され、思うような攻撃ができず苦しい展開となったが、途中出場の選手の力もあってコートの中が落ち着き、自分たちのリズムを取り戻すことができた。その後難しい状況があったが、目の前の一本に集中し、それぞれの役割を果たし、乗り越えてくれた。明日も厳しい戦いが予想されるが、団結し戦っていく。この福岡の地でホームゲームが開催され、勝利をお届けできたことを嬉しく思います。明日もたくさんの方の応援をよろしくお願いいたします。		3	25	第2セット	22	0
				25	第3セット	20	
					第4セット		
					第5セット		
トヨタ車体クインシーズ		通算	6勝	20敗			
			ポイント : 19				
監督コメント	この試合の勝利に向けて入念な準備をし、士気を高めて臨んだが、第1セットの大量リードを守り切れず、相手に反撃の機会を容易に与えてしまうプレーが多かった。相手チームの両サイドの攻撃をある程度抑えることに成功し、またサーブポイントでは相手チームを上回ったものの、アタックミスやレシーブが乱れたときの処理が拙く、勝敗に影響を与える結果になってしまったのが残念であった。久々の九州、福岡での開催で、多くの観客の皆さまの前で試合ができたことに喜びを感じます。応援ありがとうございます。						
要約レポート							
福岡でのホームゲームで上位進出を狙う4位久光スプリングスと、10位トヨタ車体クインシーズの一戦。鳴原の攻撃による得点で幕を開け、ケルシーのブロックポイントを含む3連続得点で一気にリードを広げたトヨタ車体が、第1セットを先行する展開となった。流れを掴みかけたトヨタ車体であったが、久光は平山の速攻や石井、井上(愛)の安定したサイド攻撃で徐々に点差を詰め、策のサービスエースで追いつくと、平山が3連続で速攻を決めて一気に逆転した。トヨタ車体も鳴原のサーブエースを含む連続得点でデュースとし粘りを見せるが、最後は久光が逃げ切つてセットを先取した。続く第2セット、序盤は一進一退の攻防が続くが、石井のコーナーをつく巧みな攻撃と平山のブロックによる連続ブレイクなどで、久光が徐々にリードを広げる展開となった。トヨタ車体も鳴原とケルシーのアタックなどで追いつくが、久光は井上(愛)が3連続でアタックを決めて突き放し、セットを連取した。第3セット、後のなくなったトヨタ車体は、序盤こそ久光に先行されるものの、相手ブロックに的を絞らせない攻撃で粘り、ハッタヤのサーブエースやケルシーの攻撃で3連続ブレイクとし久光に追いつく。しかし、久光は石井の連続アタックや平山、中川の連続ブロックで点差を広げると、終盤は中川にボールを集めて逃げ切り、ストレートで勝利した。石井、井上(愛)の安定したサイド攻撃に平山の速攻とアキンラデワのブロード攻撃を織り交ぜ、また戸江、池谷の好レシーブも光った久光が、終始安定した試合運びで貴重な3ポイント勝ち取った。							

試合番号 : 452		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 1,226	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:31		試合時間 : 01:31		主審 : 明井 寿枝	
						副審 : 江口 祐一郎	
JTマーヴェラス		通算	19勝	4敗	26	第1セット	28
			ポイント : 57				
監督コメント	総合力が高くアグレッシブなNECが相手ということで、自分達から崩れることがないようにと試合に臨んだが、第1セットからサイドアウトを繰り返す展開となり、我慢が必要だった。しかし、両サイドに展開された攻撃に対して、ブロックとディフェンスで対応できず、相手に粘られ、終盤、自分達で得点することが難しくなりました。1ゲーム、1ゲーム大切に戦うのはもちろんですが、コートの中で選手が自信を持ち、勇気を出して明日の試合を戦います。本日はありがとうございます。		0	17	第2セット	25	3
				20	第3セット	25	
					第4セット		
					第5セット		
NECレッドロケッツ		通算	17勝	6敗			
			ポイント : 51				
監督コメント	本日もたくさんの方の応援をありがとうございます。まずは首位を走るJTに対し、チーム丸となって挑むことができ、勝利をつかめたことを非常に嬉しく思います。タイトなスケジュールの中ではありますが、バレーができることに感謝し、クオリティの高いバレーをした選手たちも称えたいです。サーブで攻め、ブロックで抑え、どんな状況でもアグレッシブにオフェンスをする私たちのバレーができた結果だと感じます。明日も重要な試合となるので、良い流れは引き継ぎ、切り換える部分は切り換え準備していきたいです。明日も熱い応援をよろしくお願いいたします。						
要約レポート							
首位JTマーヴェラスと3位NECレッドロケッツの一戦。JT西川、NEC古賀、ウィルハイトの打ち合いで幕を開けた第1セットは、終盤まで一進一退の攻防が続いた。古賀と曾我の連続得点で先にNECがセットポイントを迎えるが、JTも西川のアタックで追いつきさらに逆転する。しかし古賀、塚田の連続得点で再逆転したNECは、最後に古賀がブロックを決め、セットを先取した。第1セットを競り勝ったNECは、続く第2セットの序盤から古賀とウィルハイトにボールを集めて一気にリードを広げる。試合の流れを掴んだNECは、堅実に得点を重ねるウィルハイトを中心に、山田の速攻と古賀、野嶋の攻撃を織り交ぜてJTを寄せつけず、セットを連取した。第3セット、後のなくなったJTは中、西川のサイド攻撃と、タットタオ、ドルーズの速い攻撃で反撃するが、流れに乗ったNECの勢いを止めることができない。終盤、NECは古賀がアタックを次々と決め、最後はリリーフサーバーの柳田がサービスエースを奪い、ストレートで勝利した。安定した試合運びで試合を優位に進めたNECが、首位JT戦で貴重な3ポイントをあげた。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝	-敗		第1セット	
			ポイント :				
監督コメント					第2セット		
					第3セット		
					第4セット		
					第5セット		
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝	-敗		第1セット	
			ポイント :				
監督コメント					第2セット		
					第3セット		
					第4セット		
					第5セット		
要約レポート							